

計 算 書 類

第 3 7 期

自 令和 2 年 4 月 1 日

至 令和 3 年 3 月 3 1 日

貸 借 対 照 表

損 益 計 算 書

株 主 資 本 等 変 動 計 算 書

個 別 注 記 表

株式会社アイ・キャン

貸借対照表（令和3年3月31日現在）

（単位：千円）

資産の部		負債の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
I 流動資産	510,972	I 流動負債	276,465
1. 現金及び預金	257,325	1. 未払金	196,701
2. 売掛金	22,067	2. 未払費用	16,458
3. 貯蔵品	90,378	3. 未払法人税等	5,094
4. 前払費用	617	5. 前受金	41,813
5. 未収入金	131,730	6. 預り金	1,693
6. 未収消費税	2,595	7. 仮受金	127
7. その他	8,429	8. 賞与引当金	13,931
8. 貸倒引当金	△ 2,173	9. その他	644
II 固定資産	1,236,305		
(1)有形固定資産	1,218,229	II 固定負債	68,554
1. インターネット設備	68,056	1. 退職給付引当金	50,021
2. 空中線設備	369	2. 役員退職慰労引当金	18,533
3. ヘッドエンド設備	35,821		
4. 自主放送設備	44,765		
5. 幹線設備	732,667		
6. 建 物	220,598		
7. 構築物	3,305		
8. 車両運搬具	13,373		
9. 什器備品	4,452		
10. 土 地	94,819		
(2)無形固定資産	8,951		
1. 電話加入権	915		
2. ソフトウエア	8,035		
(3)投資その他の資産	9,123		
1. 出資金	250		
2. 繰延税金資産	6,444		
3. その他	2,429		
		負債合計	345,020
		純資産の部	
		科 目	金 額
		株主資本	1,402,257
		資本金	100,000
		資本剰余金	700,000
		資本準備金	700,000
		利益剰余金	602,257
		利益準備金	15,000
		その他利益剰余金	587,257
		繰越利益剰余金	587,257
		純資産合計	1,402,257
資産合計	1,747,278	負債及び純資産合計	1,747,278

（注）記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

損益計算書（令和2年4月1日から令和3年3月31日まで）

（単位：千円）

科 目	金 額	
I 売上高		
1. 有線テレビジョン放送事業売上高	569,503	
2. 電気通信事業売上高	508,428	
3. 建設業売上高	232,489	1,310,421
II 売上原価		
1. 有線テレビジョン放送事業費	438,263	
2. 電気通信事業費	359,310	
3. 建設業事業費	160,946	958,519
売上総利益		351,901
III 販売費及び一般管理費		306,735
営業利益		45,165
IV 営業外収益		
1. 受取利息	355	
2. 受取手数料	1,912	
3. 賞与引当金戻入	1,523	
4. 雑収入	38,697	42,488
V 営業外費用		
1. 支払利息	14	14
經常利益		87,639
VI 特別利益		
1. 固定資産売却益	929	
2. 補助金収入	10,625	11,554
VII 特別損失		
1. 役員退職慰労引当金繰入	1,771	
2. 固定資産圧縮損	10,625	
3. 固定資産除却損	1	12,397
税引前当期純利益		86,797
法人税、住民税及び事業税		28,529
法人税等調整額		△ 1,054
当期純利益		59,322

（注）記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

株主資本等変動計算書（令和2年4月1日から令和3年3月31日まで）

(単位：千円)

	株 主 資 本							純資産 合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金			株主 資本合計	
		資本 準備金	資本 剰余金 合計	利益 準備金	その他 利益剰余金 繰越利益 剰余金	利益 剰余金 合計		
当期首残高	800,000	0	0	13,000	545,935	558,935	1,358,935	1,358,935
当期変動額								
資本金から資本 準備金への振替	△ 700,000	700,000	700,000					
利益剰余金の配当				2,000	△ 18,000	△ 16,000	△ 16,000	△ 16,000
当期純損益					59,322	59,322	59,322	59,322
当事業年度中の 変動額合計	△ 700,000	700,000	700,000	2,000	41,322	43,322	43,322	43,322
当事業年度末残高	100,000	700,000	700,000	15,000	587,257	602,257	1,402,257	1,402,257

(注) 記載金額は千円未満で切捨てて表示しております。

個別注記表

I 重要な会計方針に係る事項に関する注記

1 棚卸資産の評価基準及び評価方法

- (1) 貯蔵品・・・先入先出法に基づく原価法（収益性の低下による簿価切下げの方法）によっております。

2 固定資産の減価償却方法

- (1) 有形固定資産・・・建物（建物附属設備は除く）は、定額法（但し、平成19年3月31日以前取得のものは旧定額法）によっております。
建物附属設備、構築物は定額法（但し、平成28年3月31日以前取得のものは、定率法）によっております。
上記以外の有形固定資産は定率法（但し、平成19年3月31日以前取得のものは旧定率法）によっております。
- (2) 無形固定資産・・・定額法によっております。

3 引当金の計上基準

- (1) 貸倒引当金・・・債権の貸倒による損失に備えるため一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収不能見込額を計上しております。
- (2) 賞与引当金・・・従業員の賞与の支給に備えるため支給見込額を計上しております。
- (3) 退職給付引当金・・・従業員の退職金の支給に備えるため、自己都合退職による期末要支給額から期末日現在の共済制度よりの給付見込額を差し引いた金額を計上しております。
- (4) 役員退職慰労引当金・・・役員の退職慰労金の支給に備える為、内規に基づく期末要支給額を計上しております。

4 消費税等の会計処理方法

消費税および地方消費税の会計処理は税抜方式によっております。

II 表示方法の変更に関する注記

「会計上の見積りに関する会計基準」（企業会計基準第31号2020年3月31日）を当期より適用し会計上の見積りに関する注記を開示しております。

Ⅲ 会計上の見積りに関する注記

1 繰延税金資産の回収可能性

(1) 当期の計算書類に計上した金額

繰延税金資産	6,444 千円
繰延税金負債	— 千円
繰延税金資産（純額）	6,444 千円

(2) その他の情報

繰延税金資産は、将来減算一時差異を利用できる課税所得が生じる可能性が高い範囲内で認識しております。

課税所得が生じる可能性の判断においては、将来獲得しうる課税所得の時期および金額を合理的に見積り金額を算定しております。

これらの見積りは将来の不確実な経済状況および会社の経営状況の影響を受け、実際に生じた時期および金額が見積りと異なった場合、翌期以降の計算書類において認識する金額に重要な影響を与える可能性があります。

また、税制改正により実効税率が変更された場合に、翌期以降の計算書類において認識する金額に重要な影響を与える可能性があります。

Ⅳ 貸借対照表に関する注記

有形固定資産の減価償却累計額は、3,340,589千円です。

担保に供している資産は、ありません。

Ⅴ 損益計算書に関する注記

1 関係会社との取引高

販売費及び一般管理費 2,582千円

Ⅵ 株主資本等変動計算書に関する注記

1 発行済株式に関する事項

株式の種類	前期末株式数	当期末株式数
普通株式	16,000株	16,000株

2 当事業年度中に行った剰余金の配当に関する事項

令和2年6月18日開催の第36期定時株主総会決議による配当

配当金の総額	16,000千円
1株当たりの配当金額	1,000円00銭
基準日	令和2年3月31日
効力発生日	令和2年6月18日

3 基準日が当事業年度に属する配当のうち配当の効力発生日が翌期となる事項
令和3年6月16日開催予定の第37期定時株主総会決議による配当

配当金の総額	16,000千円
1株当たりの配当金額	1,000円00銭
基準日	令和3年3月31日
効力発生日	令和3年6月16日

VII 関連当事者との取引に関する注記

関連当事者との取引については、以下の通りとなっています。

属性	会社等の名称	議決権等の被所有割合	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額	科目	期末残高
その他の関係会社	(株)カワハラ・コーポレーション	48.8%	役員の兼任	車両等の保守管理	1,861千円	—	—
				修繕費	103千円	—	—
				業務委託	618千円	—	—

注：取引金額には消費税等を含めていません。

VIII 金融商品に関する注記

1 金融商品の状況に関する事項

当社は、資金運用を短期的な預金等に限定し、銀行等金融機関を利用した借入金により資金を調達しています。

売掛金に係る顧客の信用リスクは、与信管理規定に沿ってリスク低減を図っています。

2 金融商品の時価等に関する事項

区 分	貸借対照表計上	時 価	差 額
(1)現金及び預金	257,325千円	257,325千円	—
(2)売掛金	22,067千円	22,067千円	—
(3)未収入金	131,730千円	131,730千円	—
(4)出資金	250千円	250千円	—
(5)未払金	(196,701千円)	(196,701千円)	—

(注1)負債計上されているものについては、()で示しています。

(注2)金融商品の時価の算定方法に関する事項

「(1)現金及び預金」、「(2)売掛金」、「(3)未収入金」

これらは短期間で決済されるため、時価が帳簿価格にほぼ等しいことから、当該帳簿によっています。

「(4)出資金」

少額なため、帳簿価格によっています。

「(5)未払金」

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価格にほぼ等しいことから、当該帳簿価格によっています。

IX 税効果会計に関する注記

繰延税金資産及び繰延税金負債の主な原因別の内訳

繰延税金資産の発生は、賞与引当金、減価償却超過額の否認等です。

なお、評価性引当額は、23,486千円です。

X 1株当たり情報に関する注記

1株当たりの純資産額 87,641円11銭

1株当たりの当期純利益 3,707円66銭

XI 重要な後発事象に関する注記

該当事項は、ありません。